

松戸市緑推進委員会
第 4 期委員会の活動報告と提言



平成 20 年 6 月

松 戸 市 緑 推 進 委 員 会

表紙写真

左上：東葛里やまシンポジウム

右上：みどりの市民憲章ステージ発表

下：みどりの行動計画マップ展示

撮影：三嶋秀恒

平成20年6月30日

松戸市長 川井 敏久 様

第4期松戸市緑推進委員会
会長 田代 順 孝



第4期委員会の活動報告と提言

松戸市緑推進委員会は、平成18年7月1日付けで委嘱を受け、「松戸市緑の基本計画」に掲げた、緑の保全及び緑化の推進等に係る重要課題の解決や緑の現状を踏まえた今後の対応のあり方について、慎重かつ精力的に検討を重ねて参りました。

このたび、みどりの松戸づくりに向けて別紙のとおり委員会の総意として、「第4期委員会の活動報告と提言」を作成しました。その中で、今後10年間において重点的に取り組むべき課題として、下記の5項目を掲げ、取りまとめましたので、ここに提出します。

記

1. 樹林地保全施策をより積極的に展開すること
1. パークマネジメントシステムを構築し、21世紀の森と広場を活性化させること
1. 地域の個性をいかした公園の再生と緑化の推進を図ること
1. みどりの市民力を強化し充実させること
1. これらの重点施策を実現するための主体、方法、プロセス・しくみやそれを保証する制度を含めた推進体制を確立し、実現可能な枠組みや具体的なモデルを早期に提示すること。

以上

熱意ある協働のおかげであると思います。

この報告および提言が松戸市の緑推進の新たなるパワーになり、みどりの行政力アップにつながることを切に願うものです。

平成 20 年 6 月

第 4 期松戸市緑推進委員会
会 長 田 代 順 孝

松戸市緑推進委員会「第4期委員会の活動報告と提言」

目次

1. 第4期委員会の活動方針	-----1
2. 第4期委員会活動の成果	-----2
2.1 緑推進委員会の継続的活動	-----2
2.1.1 緑推進委員会および部会、小委員会の開催	-----2
2.1.2 委員会活動に関わる広報ほか	-----2
2.1.3 「緑の基本計画」の見直しに関わる検討と提言	-----2
2.1.4 みどりの行動計画の立案と推進	-----3
2.2 その他関連する活動	-----4
3. 「緑推進を通じた持続可能な都市づくりのための重点的施策」に関する提言	-----6
3.1 「緑の基本計画」の持続可能な都市づくりへの展開	-----6
3.2 重点的に取り組むべき施策の推進	-----7
4. 第5期委員会に引き継ぐ課題	-----8
4.1 提言の実現に向けた推進体制と手法のモデルづくり	-----8
4.2 本委員会が開発してきた活動手法の継承	-----8
4.3 「緑推進から持続可能な都市づくりへ」の情報発信と広報	-----9
5. 参考資料	-----10

1. 第4期委員会の活動方針

第3期緑推進委員会では、平成18年6月22日付の第3期委員会の活動報告と提言」において、「継続的に取り組むべき重要課題」として、以下の7項目を提言した。

すなわち、「緑の基本計画の見直しと推進」、「樹林地と農地の保護に向けた実効性のある制度づくり」、「みどりの行動計画の推進と展開」、「みどりの担い手による活動の推進と参画・協働のための支援体制の確立」、「みどりの人材育成システムの構築」、「みどりの拠点としての21世紀の森と広場の役割の強化」、「みどりに係わる広域連携の推進」である。

第4期委員会ではこれらに対して積極的に取り組むこととし、特に以下の点に留意して委員会活動を進めることを基本方針とした。

- ・ 第4期委員会では、任期内に予定されている緑の基本計画の見直しについて、特に重点的に取り組む。
- ・ 緑の基本計画の見直しにおいては、集中的かつ専門的な検討を進めるために、推進委員会内に部会を発足させ、推進委員会との役割分担や連携のもとで、審議を進める。
- ・ 「継続的に取り組むべき重要課題」の各項目に関する個別の議論の成果は、緑の基本計画の見直しに反映させる。
- ・ 「みどりの行動計画の推進と展開」に関しては、その推進を図る上で大きな役割を果たしている「みどりの行動計画推進会議」の主体性を尊重しつつ、連携しながら進めていく。

2. 第4期委員会活動の成果

2.1 緑推進委員会の継続的活動

2.1.1 緑推進委員会および部会、小委員会の開催

平成18年7月から平成20年6月までの2年間の任期中、10回の委員会を開催。このほかに「緑の基本計画」の見直し作業を進めるための「見直し部会」ならびに、「緑の基本計画」の推進にかかわる委員会提言を検討するための「提言小委員会」を設置し、延べ9回の会議を持った。

2.1.2 委員会活動に関わる広報ほか

「みどりと花のフェスティバル」（平成19年および20年4月29日開催）、「東葛里やまシンポジウム」（平成20年2月10日）などの機会を活用し、以下に列記する委員会活動の広報に努めた。

- ① 委員会の目的、役割、活動実績、ならびに松戸市のみどりの現況や保全の取り組み等をパネル展示などで紹介。
- ② 第1期委員会で制定した「市の木・花・鳥」の広報と普及。
- ③ 第2期委員会の提言により、平成16年10月に制定された「松戸みどりの市民憲章」の広報と普及。「松戸みどりの市民憲章」の制定は、第1期委員会の提言で「早急に取り組むべき課題」として第2期委員会に引き継がれたもの。
- ④ 「みどりの行動計画2007～2008」の広報と普及。
- ⑤ 第2期委員会の樹林地部会による取り組みから生まれ、毎年継続して開催されている「里やまボランティア入門講座」および松戸市における「里やまボランティア活動」の広報。

2.1.3 「緑の基本計画」の見直しに関わる検討と提言

平成10年に策定された「松戸市緑の基本計画」の見直し時期にあたり、同計画の改定に関わる検討を第4期委員会の主務とした。

委員会が「緑の基本計画」の見直し作業において検討課題としたのは、以下の6項目。このうち①～④については「見直し部会」を設置して討議を進め、⑤、⑥については委員会本会議において討議するものとした。

【検討項目】

- ① 樹林地保全の方策（実効性のある制度づくりに向けて）
- ② みどりの担い手づくり（みどりと花の基金を含めた体制づくり）
- ③ 新しい法制度（都市緑地法・景観法）への対応

- ④ 緑推進委員会の活動への評価
- ⑤ 「みどりの市民憲章」「みどりの行動計画」と「緑の基本計画」における基本理念とのすり合わせ
- ⑥ みどりの拠点としての 21 世紀の森と広場の役割の強化

「緑の基本計画」の改定作業においては、委員会（部会を含む）での検討内容と提言が、みどりと花の課が中心となって進める庁内での改定作業に逐次反映されるかたちで協議が進められ、平成 20 年 3 月に「松戸市緑の基本計画改定素案」がまとめられた。

さらに第 4 期委員会ではこの素案を受けて、計画目標年次までに松戸市が重点的に進めるべき課題を提言することとなり「提言書作成小委員会」を設置して討議を重ね、委員会本会議に諮ったうえで本提言書にまとめた。

なお「緑の基本計画」の見直しにおける検討項目は、第 3 期委員会の提言を受け、その内容を反映させたものである。

2.1.4 みどりの行動計画の立案と推進

平成 16 年に制定された「松戸しみどりの市民憲章」は、憲章の精神を反映した具体的なアクションプランとして「みどりの行動計画」を伴っている点に特色がある。この行動計画は、市民公募を受けて緑推進委員会が決定し、行政・市民・企業がそれぞれの立場で実行に移していくものとしている。

緑の行動計画は、第 3 期委員会において「木や花に名札をつけよう」に決定され「みどりの行動計画 2005」「みどりの行動計画 2006」として 2 カ年にわたり実施され、成果を残した。また、その推進にあたっては、緑推進委員会の委員を含む市民有志により「みどりの行動計画推進会議」が組織され、実施を支援した。

第 4 期委員会では、この体制を引き継ぎ、さらに段階的に発展させることを意図して、公募により「みどりのマップづくり」を平成 18 年度（2007 年）からの行動計画に決定し、これを推進した。

「みどりのマップ」は、身近なみどりの様子を地図化することにより、地域のみどりを市民に認識してもらうとともに、それらを現況の記録として活用し、地域ひいては市域全体のみどりの保全や育成に役立てていくことを目的としている。

ただ、「みどりのマップづくり」は、それがどのようなものなのかを市民が即座にイメージするのが難しく、またその視点の設け方や作図の手法などにある程度の実践経験を要するため、初年度の「みどりの行動計画 2007」においては「みどりのマップ」の事例を示す手法で、広報と普及に努めた。

具体的には、「みどりの行動計画推進会議」が、実際に小金北部地区をフィールドに「みどりのマップづくり」を実践し、調査や作図手法などについて検討したほか、既存のマップ等のなかから「みどりのマップ」に該当するものを事例として集め、展示会を開催した。

これら「みどりのマップ」は、平成 20 年 3 月 10 日から 12 日間、松戸市役所 1 階通路に展示されたほか、平成 20 年 2 月 10 日に開催された「東葛里やまシンポジウム」の会場でも展示され、松戸における市民と行政のパートナーシップによる取り組みとして紹介された。

2.2 その他関連する活動

単に行政に対して提言を行うだけではなく、提言のなかで実現の可能なものについては積極的にそれを試行し、さらにそれらを自立的・継続的な活動に発展させてきたところに本委員会の特色がある。その成果を以下に述べる。

① 「里やまボランティア入門講座」

第 2 期委員会樹林地保全部会の発案により試行されたのを皮切りに、毎年継続して開講されている「みどりの担い手づくり」講座。2 年目以降は委員会を離れ、「緑のネットワーク・まつど」「里やま応援団グループ」など樹林地保全活動団体、市民活動の中間支援組織である「松戸まちづくり交流室テント小屋」とみどりと花の課の 3 者協働により「里やま講座プロジェクト」として実施されている。

同講座は平成 19 年で 5 期を数えるが、毎年の講座修了者は自主的に樹林地保全活動団体を発足させ、活動に入っている。また、それらの団体は相互に連携を持ち、人材、技術、情報等を提供し合う市民ネットワークを形成している。

さらに平成 19 年度で特筆すべきは、こうした市民による保全活動が樹林地の所有者に評価されはじめたことだ。従来、活動の場の確保は、みどりと花の課の所有者への働きかけによっていたが、今回初めて所有者側からのフィールド提供の申し出が 2 件あった。担い手の育成と活動の継続による成果にほかならない。

② 「松戸花壇づくりネットワーク」と東松戸ゆいの花公園ボランティア

同ネットワークは、第 2 期委員会の「パートナーシップによる緑の育成管理方策検討部会」の活動をきっかけとして、平成 17 年に発足した。花壇づくり団体の情報交換や人的交流の拡大を図ることを目的としているが、緑と花のフェスティバルやみどりの行動計画推進会議への参加なども通して、本委員会と密接な協力関係を築いている。

また、平成 19 年 4 月に開園した東松戸のゆいの花公園においては、同ネットワークが公園内の花壇づくりに参画。地域を主体とした公園ボランティアの育成に取り組んでいる。

③ 「根木内歴史公園プロジェクト」と「根木内歴史公園サポーター・根っ子の会」

平成 18 年 4 月に開園した根木内歴史公園は、公園の保全・管理に市民ボランティアを導入した松戸市で初めての事例となっているが、このボランティア導入にあたっては「里やまボランティア入門講座」と同様に、緑関係の市民活動団体、中間支援組織、公園緑地課の 3 者協働による「根木内歴史公園プロジェクト」が立ち上げられ、その

活動が推進力となった。

現在は、同年5月に実施された「根木内歴史公園ボランティア体験講座」の修了者が「根木内歴史公園サポーター・根っ子の会」を発足させ、園内の緑地の保全・管理活動に取り組んでいる。

同会は、公園の保全・管理・利用のあり方を管理者である公園緑地課と協議しながら活動をしており、また市との間に協定を結んで活動の担保性を高めているなどの点に見どころがある。

根木内歴史公園の取り組みは、上記の東松戸ゆいの花公園のボランティア導入にもつながり、また「里やま講座プロジェクト」とあわせ、今回の「緑の基本計画」見直しに際し、大きな示唆を与えるものになった。

④ 「東葛里やまシンポジウム」

松戸市の山林所有者の団体である「松戸ふるさと森の会」の発案を受け「里やま講座プロジェクト」メンバーが企画。松戸市同様に山林所有者の団体がある市川市（市川みどり会）、柏市（かしわ里山の会）をはじめ、東葛地域自治体の緑政担当部署に協力を仰ぎ、平成20年2月10日、松戸市において開催された。

このシンポジウムの開催は、第3期委員会の提言に盛り込まれている「みどりに係わる広域連携の推進」を実現したのもでもあるが、山林所有者と市民、行政、学識経験者等が一堂に会して「みどりの保全」について話し合うのは初の試みであり、大きな成果といえる。東葛一円からの来場者が150名にもものぼる盛況ぶりを見せ、今後の展開が期待される。

3. 「緑推進を通じた持続可能な都市づくりのための重点的施策」に関する提言

3.1 「緑の基本計画」の持続可能な都市づくりへの展開

地球環境問題あるいは地域環境問題が顕在化する中で、国内外の先進的な諸都市では、次世代に向けて、生物多様性の保全と利用、低炭素社会の構築、環境と健康に配慮したライフスタイルへの移行などの面から、持続可能な都市づくりが進められている。

松戸市においても、持続可能な都市づくりへと本格的に始動し、推進していくことが求められる。例えば、土地利用、都市交通、エネルギー、廃棄物対策、市街地整備、自然保護、緑地保全・緑化、歴史と文化、環境教育、コミュニティやライフスタイル、主体形成とパートナーシップなどに係わる分野ごとの取り組み、市民・市民団体、事業者、行政などの主体毎の取り組み、松戸市の各地における地域ごとの取り組みが考えられる。これらの個別なアプローチの重要性は否定されるものではないが、今後、より一層効果的で継続的な取り組みを推進していくためには、個別の分野、主体、地域を超えた横断的・統合的なアプローチへと転換し、連担する空間システムと協働する社会システムとの両者を実現していく必要がある。

このような観点から、松戸市のあり方を展望した場合に特筆される事柄のひとつとしては、持続可能な都市づくりのための空間システムの基盤として、低地、谷戸、台地などの地形や農業、生活と密接に関連する水と緑が存在していることが挙げられる。これらは生物多様性の保全、二酸化炭素の吸収・固定、ヒートアイランド現象の緩和、防災、郷土の景観形成、歴史・文化的環境の形成、レクリエーションや健康の向上など、持続可能な都市づくりを進める上での多面的な役割を果たしている。

いまひとつは、社会システムを構築する上での萌芽としての市民力の形成や先導的な取り組みが、緑推進の分野で見られることである。樹林地保全のような緑地保全活動、花壇づくりのような緑化活動など、緑地を基盤として展開される人々の営みは、人と自然とのふれあいや環境学習、ネットワークの形成、パートナーシップの推進、次世代の担い手の育成、コミュニティの形成や新たな公共の創造などへと展開しつつある。

次世代へ向けて、これらの特長を活かした持続可能な都市づくりが展開できないだろうか。その基本方策が、「持続可能な都市づくりを先導することを重要な目標の一つとし、多面的な緑地のはたらきを顕在化させ担保するための緑地保全・緑化、公園整備など空間システムと、それを支えつつ強化していくための主体、方法、プロセス・活動・しくみを提供する社会システムの構築・統合を図る基本計画」＝「緑の基本計画」の実現である。

「緑の基本計画」は、単なる都市づくりにおける緑部門の個別計画ではない。上述のような、持続可能な都市づくりの先導的な計画としての意義が認められるのであり、横断的・統合的なアプローチに基づく緑推進を基礎とした様々な都市施策の展開を図り、これをもって持続可能な都市づくりの実現を目指すことを本提言において強く求めるものである。

3.2 重点的に取り組むべき施策の推進

松戸市の（第一次）緑の基本計画は、平成 10 年（1998 年）に策定されているが、平成 32 年（2020 年）の目標年次のほぼ中間年にあたる平成 20 年（2008 年）を迎えるに当たり、社会情勢の変化や施策の推進状況を鑑みて、施策の見直しを進めることとなった。第三期委員会でこのことが了承され、緑の基本計画の見直しに向けての具体的な検討が今期委員会に引き継がれた。今期委員会では緑の基本計画見直し部会を組織して具体的な検討を進め、その成果は、「緑の基本計画（改定素案）」の中に反映された。そこでは、これまでの実績を踏まえた、これからの緑推進の基本的な方向性や具体的な施策を提示することができたと考えている。一方、検討の過程で、（第一次）緑の基本計画の計画が終了する 10 年後を想定した場合、計画の実現に向けてより一層の施策の推進が必要であること、前述のような「緑の基本計画」の持続可能な都市づくりへの位置づけや可能性を十分考慮する必要があり、具体的には重点的に取り組むべき施策を絞り込む必要があることなどの認識が、委員会や部会内で共有された。そこで、緑の基本計画の改定にあわせて、今後 10 年間において、重点的に取り組むべき施策を提言することとなった。

重点的に取り組むべき施策は、緑推進を通じて持続可能な都市づくりに貢献するという観点に立脚し、過去に十分に実現されていないが早急な実現が必要な施策（緊急性）、実現を目指す上での芽がすでに育ちつつある施策（萌芽性）、一つの施策の実現が大きな波及的効果をもたらすことが期待できる施策（発展性）の 3 つの観点から検討した。

以上を踏まえ、今後 10 年間において重点的に取り組むべき 5 項目の重点施策を提言する。

① 樹林地保全施策をより積極的に展開すること

注：「松戸市緑の基本計画（改定素案）」の P25～P30 を参照。

② パークマネジメントシステムを構築し、21 世紀の森と広場を活性化させること

注：「松戸市緑の基本計画（改定素案）」の P34～P35 を参照。

③ 地域の個性をいかした公園の再生と緑化の推進を図ること

注：「松戸市緑の基本計画（改定素案）」の P45～P55 および P56～P77 を参照。

④ みどりの市民力を強化し充実させること

注：「松戸市緑の基本計画（改定素案）」の P25～P30 を参照。

⑤ これらの重点施策を実現するための主体、方法、プロセス、しくみやそれを保証する制度を含めた推進体制を確立し、実現可能な枠組みや具体的なモデルを早期に提示すること。

4. 第5期委員会に引き継ぐ課題

「第4期委員会の活動成果」にも見られように、これまで本委員会の活動は各期の提言を踏まえて、継続性を持たせながら展開してきているところに特徴がある。また、実現可能なものについて委員会の調査・研究の一環として積極的に試行し、自立的・継続的な実践の下地をつくり出してきたことも、本委員会の性格として特筆される。

こうした経緯から、以下を第5期委員会へ引き継ぐ課題としてここに提示し、本提言書の結びとする。

第4期委員会としては、下記の事項を第5期委員会に引き継ぐ事項として提示するが、本委員会の活動は各期委員会の自主性を尊重して継続されてきた経緯があるので、第5期委員会に強要するものではなく活動方針を決定する際の要望にとどめる。

4.1 提言の実現に向けた推進体制と手法のモデルづくり

「3. 提言」の項において「持続可能な都市づくりに向けて重点的に取り組むべき施策」を挙げ「緑の基本計画」の実現が「持続可能な都市づくり」への道標であることを示した。

そして、改定版「緑の基本計画」に基づき、今後松戸市が「重点的に取り組むべき施策」を挙げた。このうち、「①樹林地保全施策をより積極的に展開すること」、「②パークマネジメントシステムを構築し、21世紀の森と広場を活性化させること」、「③地域の個性をいかした公園の再生と緑化の推進を図ること」、「④みどりの市民力を強化し充実させること」の4項目が、具体的な施策に対応するものである。

しかし、それらの施策を実際に推進するには、大きく二つの課題がある。ひとつは「誰が」（実施主体）、「どのようにして」（体制および手法）推進するかであり、今ひとつはその推進体制と手法が、多くの市民に理解しやすく、取り組みやすくするように、より実際的な推進モデルを提示することである。

そこで、「⑤これらの重点施策を実現するための主体、方法、プロセス・しくみやそれを保証する制度を含めた推進体制を確立し、実現可能な枠組みや具体的なモデルを早期に提示すること。」が重要であり、実現性の高いものについては、委員会においてある程度の推進モデルを提示、試行していくことが要求される。

4.2 本委員会が開発してきた活動手法の継承

第5期委員会の取り組みの進め方として、これまで本委員会が開発してきた手法、すなわち「先導的なプロジェクトの試行」、「委員会と行政に加え、委員会外部の市民団体等との連携と協働」、「担い手の発掘と育成を含めた継続的な取り組みの展開」などを基調として委員会活動を進めることを引き継ぎ課題とする。

このような委員会での取り組みや試行およびその評価は、前項の「推進体制と手法のモデルづくり」にも直接反映し得るものである。

4.3 「緑推進から持続可能な都市づくりへ」の情報発信と広報

「緑の基本計画」に基づく緑推進活動を市民ぐるみで取り組むことが、持続可能な都市づくりの実現に向かわせるとする提言の先取的な考え方、すなわち「みどりの保全・育成」に視点を据えたまちづくりが、快適かつ安心・安全な都市環境の形成につながることを、委員会活動を通して情報発信し、広報すること。

また、こうした考えによる緑推進の取り組みに対し、市民の関心の向上や参加の促進が図られるよう工夫・配慮することも第5期委員会の活動への引継ぎ課題とする。

5 . 参考資料

参考資料目次

- 資料 1 「第 4 期松戸市緑推進委員会委員名簿」
- 資料 2 「第 4 期松戸市緑推進委員会の開催概要」
- 資料 3 「緑の基本計画の見直しについて」「緑の基本計画見直し部会」紹介
- 資料 4 「緑の基本計画見直し部会委員名簿」「提言書作成小委員会委員名簿」
- 資料 5 「緑の基本計画見直し部会の開催概要」「提言書作成小委員会の開催概要」
- 資料 6 「みどりの行動会議」紹介
- 資料 7 「みどりの行動計画推進会議委員名簿」
- 資料 8 「みどりの行動会議開催概要」
- 資料 9 「緑と花のフェスティバルへの参加」紹介
- 資料 1 0 「緑と花のフェスティバル 2 0 0 7」写真
- 資料 1 1 「緑と花のフェスティバル 2 0 0 8」写真
- 資料 1 2 「スタンプラリー」用紙
- 資料 1 3 「みどりのマップ募集」パンフレット
- 資料 1 4 「東葛里やまシンポジウム」紹介
- 資料 1 5 「東葛里やまシンポジウム」パンフレット
- 資料 1 6 「東葛里やまシンポジウム」写真
- 資料 1 7 「里やまボランティア入門講座 2 0 0 7」紹介
- 資料 1 8 「里やまボランティア入門講座 2 0 0 7」写真

第 4 期委員会の委員構成表 第 4 期松戸市緑推進委員会委員名簿

	<氏 名>	<所 属 等>
会 長	田代 順孝	千葉大学大学院園芸学研究科教授
会長代理	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
委 員	平岡 考	(財)山階鳥類研究所広報室長、研究員
委 員	末満 宗治	松戸史談会前会長
委 員	高橋 清	河南環境美化の会会長
委 員	高橋 盛男	緑のネットワーク・まつど
委 員	真嶋 好博	千葉県樹木医会
委 員	高橋 昌男	小金園芸品出荷協会役員
委 員	吉野 寅二郎	松戸ふるさと森の会会長
委 員	川上 和子	市 民
委 員	糸川 孝	市 民
委 員	竹林 清	市 民
委 員	広瀬 光紀	市 民
委 員	三嶋 秀恒	市 民
委 員	山下 正徳	市 民

参考資料 2

第 4 期委員会の開催概要表

第 4 期松戸市緑推進委員会の開催概要

委員会名称	開催日	議 題
委 嘱 式	平成 18 年 7 月 7 日	・会長の選任
第 1 回委員会	平成 18 年 10 月 4 日	・会長代理の選出 ・第 4 期委員会で検討すべき議題 ・緑の基本計画の見直し ・みどりの行動計画推進会議報告
第 2 回委員会	平成 18 年 11 月 27 日	・第 4 期委員会で検討すべき課題 ・緑の基本計画の見直し
第 3 回委員会	平成 19 年 2 月 23 日	・第 4 期委員会で検討すべき課題 ・みどりの行動計画推進会議報告 ・ 緑と花のフェスティバル 2 0 0 7 への参加
第 4 回委員会	平成 19 年 5 月 23 日	・第 4 期委員会で検討すべき課題 ・緑と花のフェスティバル 2 0 0 7 報告 ・みどりの行動計画推進会議報告
第 5 回委員会	平成 19 年 9 月 28 日	・第 4 期委員会で検討すべき課題 ・みどりの行動計画推進会議報告
第 6 回委員会	平成 19 年 11 月 22 日	・第 4 期委員会で検討すべき課題 ・みどりの行動計画推進会議報告
第 7 回委員会	平成 20 年 2 月 19 日	・第 4 期委員会で検討すべき課題 ・みどりの行動計画推進会議報告 ・緑と花のフェスティバル 2 0 0 8 への参加
第 8 回委員会	平成 20 年 3 月 26 日	・第 4 期委員会で検討すべき課題 ・みどりの行動計画推進会議報告 ・第 4 期緑推進委員会提言 ・緑と花のフェスティバル 2 0 0 8 への参加
第 9 回委員会	平成 20 年 5 月 30 日	・第 4 期推進委員会提言 ・みどりの行動会議報告 ・緑と花のフェスティバル 2 0 0 8 への参加報告
第 10 回委員会	平成 20 年 6 月 30 日	・みどりの行動計画会議報告 ・市長への提言

緑の基本計画の見直しについて

緑の基本計画見直しにおける検討項目として、次の2項目を本委員会の場で議論しました。

「みどりの市民憲章」、「みどりの行動計画」と緑の基本計画における基本理念とのすり合わせ

みどりの拠点としての21世紀の森と広場の役割の強化についての検討



緑推進委員会風景

緑の基本計画見直し部会

緑推進委員会内の検討部会として、次の4項目について議論を深めて本委員会へ報告しました。

樹林地保全の方策についての検討

みどりの担い手づくりの検討

新しい法制度（都市緑地法・景観法）への対応

緑推進委員会の活動への評価



緑の基本計画見直し部会風景

参考資料4

第4期松戸市緑推進委員会「緑の基本計画見直し部会」委員名簿

	<氏名>	<所属等>
座長	田代 順孝	千葉大学大学院園芸学研究科教授
座長代理	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
委員	高橋 盛男	緑のネットワーク・まつど
委員	三嶋 秀恒	市民
委員	山下 正徳	市民
オブザーバー	野口 功	市民

第4期松戸市緑推進委員会「提言書作成小委員会」委員名簿

	<氏名>	<所属等>
座長	田代 順孝	千葉大学大学院園芸学研究科教授
座長代理	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
委員	高橋 盛男	緑のネットワーク・まつど
委員	真嶋 好博	千葉県樹木医会
委員	広瀬 光紀	市民
委員	三嶋 秀恒	市民
委員	山下 正徳	市民

第4期松戸市緑推進委員会緑の基本計画見直し部会の開催概要

委員会名称	開催日	議 題
第1回部会	平成19年7月5日	・樹林地保全の方策 ・みどりの担い手づくり
第2回部会	平成19年8月28日	・樹林地保全の方策
第3回部会	平成19年9月25日	・樹林地保全の方策
第4回部会	平成19年10月25日	・樹林地保全の方策
(緑推進委員会)	平成19年11月22日	・見直し部会における検討案の中間報告
第5回部会	平成19年11月28日	・新しい法制度(都市緑地法・景観法)への対応
第6回部会	平成19年12月12日	・みどりの担い手づくり ・緑推進委員会の評価
第7回部会	平成20年3月18日	・基本計画全体案の検討
(緑推進委員会)	平成20年3月26日	・見直し部会における検討案の最終報告

第4期松戸市緑推進委員会提言書作成小委員会の開催概要

委員会名称	開催日	議 題
第1回部会	平成20年5月1日	・提言書原案の作成について
第2回部会	平成20年6月9日	・原案に対する本委員会での意見を受けた修正検討

みどりの行動会議

緑推進委員会内の部会として、緑推進委員会OBや市民も加わって行動計画のテーマ「みどりのマップづくり」を策定し、活動しました。各種マップの募集、作成、展示を実施しました。



会議風景



2008年2月松戸市で開催された「東葛里やまシンポジウム」でマップの展示を行いました



マップ募集パネル



小金地区「法規制」



小金地区「景観」



小金地区「生態系・食と農」



2008年3月市役所通路でパネルを展示しました



2008年4月29日21世紀の森と広場で行われた「緑と花のフェスティバル2008」にて「スタンプラリー」の中でマップを展示しました



みどりの行動計画推進会議の構成表

みどりの行動計画推進会議委員名簿

	<氏名>	<所属等>
座長	柳井 重人	緑推進委員
委員	田代 順孝	緑推進委員
委員	高橋 清	緑推進委員
委員	高橋 盛男	緑推進委員
委員	真嶋 好博	緑推進委員
委員	吉野 寅二郎	緑推進委員
委員	三嶋 秀恒	緑推進委員
委員	川上 和子	緑推進委員
委員	糸川 孝	緑推進委員
委員	竹林 清	緑推進委員
委員	広瀬 光紀	緑推進委員
委員	高木喜久雄	緑推進委員OB
委員	渋谷 孝子	緑推進委員OG、 緑のネットワーク・まつど
委員	田中 玉枝	緑のネットワーク・まつど
委員	武笠 紀子	緑推進委員OG、 緑のネットワーク・まつど
委員	深野 靖明	松戸里やま応援団
委員	北山 繁	松戸里やま応援団
委員	山口 熙	松戸里やま応援団
委員	田中 誠喜	松戸里やま応援団
委員	野口 功	松戸里やま応援団(二期)
委員	小川 義裕	花の会(駒形公園)
委員	阿部 博史	野草の会 響
委員	島村 宏之	事務局
委員	大塚 清貴	事務局
委員	小泉 貴彦	事務局

参考資料 8

みどりの行動会議開催概要

(みどりの行動計画推進会議から引継ぎ開催する)

	日 程	議 題
第 9 回	平成 1 8 年 6 月 2 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動計画 2006 実施報告 ・ みどりの行動計画「木や花に名札をつけよう」PRパンフレットの作成
第 1 0 回	平成 1 8 年 9 月 2 0 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動計画 2006 実施報告 ・ 名札付け実施後のケア及びサポートの検討
第 1 1 回	平成 1 8 年 1 1 月 2 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動計画 2006 実施報告 ・ 行動計画 2007 のテーマを「みどりのマップづくり・・・身近なみどりを知ろう」に決定
第 1 2 回	平成 1 9 年 1 月 2 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ みどりのマップづくりについて ・ 今後のスケジュール検討
第 1 3 回	平成 1 9 年 2 月 2 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ みどりのマップ公募方法の検討 ・ みどりのフェスティバルでの発表について
第 1 4 回	平成 1 9 年 3 月 2 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑と花のフェスティバル 2007 での出展内容検討 ・ 「みどりのマップ」アンケート内容検討
第 1 5 回	平成 1 9 年 5 月 1 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「みどりのマップ」を 1 2 月まで募集決定 ・ 募集後の展示について検討
第 1 6 回	平成 1 9 年 6 月 2 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「みどりのマップの募集」と今後の活動告 ・ 緑地分布・地域全体のプラン ・ マップの内容について検討
第 1 7 回	平成 1 9 年 7 月 3 0 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「みどりのマップ」づくり企画 ・ マップの具体的な内容と作成方法について
第 1 8 回	平成 1 9 年 9 月 2 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区を限定したマップづくり ・ マップの内容、及び種類別の担当者を決定
第 1 9 回	平成 1 9 年 1 2 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試作したマップの検討 ・ 展示会の企画、検討
第 2 0 回	平成 2 0 年 1 月 1 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東葛里やまシンポジウムでの展示方法の検討 ・ 今後の展開について
	平成 2 0 年 2 月 1 0 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東葛里やまシンポジウムでの展示
第 2 1 回	平成 2 0 年 2 月 1 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所通路での展示方法の検討 ・ 緑と花のフェスティバル 2008 への企画検討
	平成 2 0 年 3 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所通路での展示 (3 / 1 0 ~ 3 / 2 1 まで) のための準備
第 2 2 回	平成 2 0 年 3 月 2 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑と花のフェスティバル 2008 の企画について ・ スタンプラリー、屋外展示等の役割分担
	平成 2 0 年 3 月 2 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『みどりの行動計画推進会議』から『みどりの行動会議』に名称変更する

緑と花のフェスティバルへの参加 「緑推進委員会として参加」

緑と花のフェスティバル2007・2008に緑推進委員会として参加しました。
(パネル展示・ステージ発表・スタンプラリーを企画・実施しました。)

緑と花のフェスティバル2007(入場者数17,400人)



緑推進委員会テント



アンケートの様子



ステージ発表

緑と花のフェスティバル2008(入場者数18,800人)



緑推進委員会テント



ステージ発表



ラリーポイント
「虫の目になってみよう！」



ラリーポイント
「において葉っぱ当てクイズ！」



ラリーポイント
お母さんはだ〜れ？



ラリーポイント
「林の中で寝そべってみよう！」

緑と花のフェスティバル2007

日時： 4月29日(日)
 場所： 21世紀の森と広場
 松戸市緑推進委員会
 ステージ発表
 パネル展示

みどりのスタンプラリー
 ポイント6ヶ所+顕微鏡観察
 ミニゼン観察会



お父さんも一緒に観察



フジの花



朝早くテント前に 全員集合
 応援隊の皆さん 有難うございました



皆さんの協力により 盛況に終了しました

第20回 緑と花のフェスティバル 2008

松戸市緑推進委員会・みどりの行動会議

みどりと暮らす豊かさを大切にしよう！ みどりの応援隊の皆さん
 みどりのスタンプラリー ありがとうございます
 ステージ発表 天候に恵まれて、参加の皆さんに
 テントでパネル展示 楽しんでもらいました

お気に入りのマップ	得票数
緑のまち歩きマップ	12票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	10票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	8票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	7票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	6票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	5票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	4票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	3票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	2票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	1票
緑のまち歩きマップ(緑のまち歩きマップ)	0票



みどりのマップ アンケート



みどりの市民憲章 ステージ発表



みどりのマップを見てみよう！



みどりの応援隊

チャレンジ!! 2008 みどりの スタンプラリー

「まっどの花」 を咲かせよう!!

7つのポイント★をクリアして、右の「まっどの花」の台紙にスタンプを押しもらおう。
満開にしてラリーゴールに持ってくると、すてきな景品をゲットできるぞ!

ラリーゴール
(緑推進委員会のテント)

ステージ

21世紀の森「つどいの広場」★

松戸市緑推進委員会
緑と花のフェスティバル
2008
平成20年4月29日(祝)

★1 : 虫の目になってみよう!
★2 : お母さんはだ〜れ?
★3 : 林の中で寝そべってみよう!
★4 : みどりのマップを見よう!
★5 : においで葉っぱ当てクイズ!
★6 : 野草の草花あそび! (松戸市理科同好会)
★6 : 好きな花の名前はなに? (松戸花壇づくりネットワーク)
★7 : 21世紀の森と広場で好きな場所? (千葉大学園芸学部)

身近なみどりを知ろう！ 「みどりのマップ」大募集！！

松戸市緑推進委員会
みどりの行動計画推進会議

- 1 **ご近所で** **学校で** **お友だちと** **親子で**
- 2 **見る、歩く、調べる**
- 3 **わくわく、ドキドキ、あ！ と驚く発見**
- 4 **マップづくり**
- 5 **展示会で 皆さんに見てもらおう！**



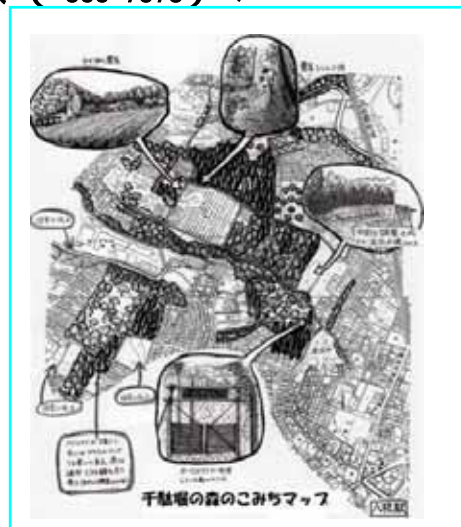
募集対象：自分たちでマップづくりを希望する
グループ (例：ご近所、学校、友人と)
マップの提出：平成19年12月まで (予定)
第一回展示会：平成20年1月 (予定)
「みどりのマップづくり」のお問い合わせ先
みどりと花の課 (366-7378) へ

松戸みどりの市民憲章 (平成16年10月制定)

1. 松戸市民はみどりと暮らす豊かさを大切にします。
1. 千年来のみどりの声に耳を傾け、百年後のみどりを育てます。
1. 子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。

みどりの行動計画 2007 「みどりのマップづくり」

- ・ 私の好きなみどりのある場所マップをつくり 皆さんに紹介しましょう!
- ・ 仲間と一緒にみどりのお散歩マップをつくり 歩いて楽しみましょう!
- ・ サクラの名所・公園樹木 好きな生き物みたよマップをつくってみましょう!



千駄堀の森のこみちマップ

樹木や草花を身近に感じるとともに 「みどりと暮らす豊かさ」
に気づききっかけにすることを目的にしています 23

参考資料 14

東 葛 里 や ま シ ン ポ ジ ウ ム

都市の樹林を残したいという市民がいます。先祖から受け継いできた樹林を守りたいと願う所有者がいます。行政もまた、まちづくりにおける樹林の役割を重く見えています。しかし、さまざまな事情により、都市の樹林を残し、良好に保つのは難しくなっています。

今回のシンポジウムは、松戸市で毎年開講されている「里やまボランティア入門講座」から生まれました。山林所有者と里やまボランティアが意見を交換するなかで、都市の樹林の窮状をより多くの人の知ってもらいたいとの思いから企画されたのです。

都市の樹林に思いを寄せる人それぞれの立場から、この貴重な財産をどうとらえ直し、育ていけばよいかを語り合おうと思います。

1. プログラム

- 13:30～13:40 開会
司会： 野口 功
開会の挨拶 高木喜久雄（松戸里やま応援団代表）
シンポジウムの概要説明
基調講演の講師紹介（田代順孝氏）
- 13:40～14:30 基調講演「里やまとともに暮らす緑園都市をつくろう」
講師： 千葉大学大学院園芸学研究科教授 田代順孝氏
- 14:30～14:50 休憩（20分）
展示の概要説明、映像DVDの紹介 渋谷孝子
- 14:50～16:20 パネルディスカッション「都市の緑、その魅力と価値をどう伝えるか」
コーディネーター： 高橋盛男氏 緑のネットワーク・まつど
パネリスト： 吉野寅二郎氏 松戸ふるさと森の会 会長
竹内一雄氏 市川みどり会 会長
伊藤 守氏 かしわ里山の会 会長
深野靖明氏 松戸里やま応援団
田代順孝氏 千葉大学大学院園芸学研究科教授
- 前半（40分）
後半（50分）
- 16:30 閉会

2. パネル展示

- 1) 「みどりのマップ」の展示パネル
- 2) 「山林所有者の会」の紹介パネル
- 3) 「みどりの担い手（里やまボランティア）」の紹介パネル

3. 交流懇親会

- 1) 時間： 17時開始（2時間程度）

開催主体

主催： 緑のネットワーク・まつど、松戸まちづくり交流室テント小屋、みどりと花の課

後援： 松戸ふるさと森の会、市川みどり会、かしわ里山の会

東葛里やまシンポジウム

所有者と語ろう!

都市の樹林は残せるか?

日時： 2月10日(日)
13時30分～16時30分

場所： 松戸市民会館 301会議室
☎ 047-368-1237

参加費： 無料

失われつつある都市の樹林を
いかに残し、次代に伝えるか。
所有者を交えてその方策を考えます。

共催 緑のネットワーク まつど
松戸まちづくり交流室テント小屋
松戸市みどりと花の課

後援 松戸ふるさと森の会
市川みどり会
かしわ里山の会

基調講演 里やまとともに暮らす緑園都市をつくろう!

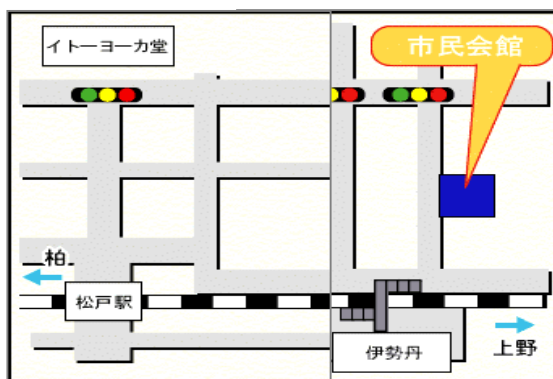
講師 千葉大学大学院園芸学研究科教授 田代 順孝 氏

パネルディスカッション 「都市の緑、その魅力と価値をどう伝えるか」

コーディネーター	高橋 盛男 氏	緑のネットワーク・まつど
パネリスト	吉野 寅二郎 氏	松戸ふるさと森の会 会長
	竹内 一雄 氏	市川みどり会 会長
	伊藤 守 氏	かしわ里山の会 会長
	深野 靖明 氏	松戸里やま応援団
	田代 順孝 氏	千葉大学大学院園芸学研究科教授



問い合わせ 松戸市みどりと花の課



<会場>

松戸駅東口より線路沿いに上野方向へ。地下通路
出入口のある角を左折してすぐ。徒歩5分程度

基調講演：
里やまとともに暮らす緑園都市をつくらう！
パネルディスカッション：
郷市の緑、その魅力と価値をどう伝える

2008年2月10日（日）

場所：松戸市民会館

参加者：150名



コーディネーター
高橋盛男氏



交流懇親会 乾杯！



みどりのマップづくり」パネル展示



千葉大 田代教授



パネリストの方々



会場は満席でした

～身近な緑を知る・守る5つの体験～

緑を守ろう！

仲間をつくらう！

自然に親しもう！

気持ちよく汗をかいて

楽しい野外体験ができる！

あなたもいかが？

里やまボランティア



道ばたのクコを観察

日程	内容	講師・協力	会場
10月23日	里やまって何だろう？ 松戸の緑の現状と課題	自然観察指導員 高野 史郎 氏 みどりと花の課	まつど市民活動 サポートセンター
11月6日	都市の緑の役割 森林所有者のお話し 関さんの森の見学とお話し	千葉大学大学院園芸学研究所 准教授 柳井 重人 氏 松戸ふるさと森の会 関さんの森を育む会 関美智子氏	東漸寺談話室 関さんの森
11月13日	里山整備の基本 森の見方	千葉県森林研究センター 主席研究員 福島成樹 氏	小金原市民センター ホダシの森
11月27日	森の手入れ体験	囲いやま森の会、三樹の会 金ヶ作の森を育む会	囲いやまの森 金ヶ作の森
12月4日	まとめと交流	里やまボランティア団体	アクト'アセンター



2.5 kmの天切の斜面林



囲いやまの森の中で
昼食会



楽しい懇親会



金ヶ作の森・三吉の森の広場に全員集合

里やま講座 期
受講者 21 名

グループワークの発表
「はじめの一步を
考えよう」



関さんの森を育む会のお話し



里山整備の講義

松戸市緑推進委員会
第4期委員会の活動報告と提言

この提言書は、平成20年6月30日に第4期緑推進委員会から市長に提言された内容を広く市民の皆様にお知らせするために作成しました。

発行 松戸市緑推進委員会

問い合わせ先 松戸市都市整備本部都市緑花担当部
みどりと花の課

047-366-7378

FAX 047-368-9595